

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	迎賓館施設整備に必要な経費			担当部局庁	迎賓館	作成責任者			
事業開始年度	昭和54年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	赤坂迎賓館総務課 京都迎賓館庶務課	総務課長 北村 実仁 庶務課長 高野 仁			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律			関係する計画、通知等	官公庁施設の建設等に関する法律第九条に基づく営繕計画書				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤坂迎賓館、京都迎賓館について、経年により老朽化した施設等の改修・整備を行い、接遇及び一般公開等に支障のないことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	赤坂迎賓館は、国宝に指定されているが、昭和49年の開館より40年以上が経過しており、施設等については改修を行っているものの経年劣化や一般公開の実施に伴う損傷が進んでいる。また、改修に必要な部品等の調達も年々難しくなっており、接遇や一般公開等を実施するにあたり支障が生じる恐れがある。また、京都迎賓館でも、開館から10年以上が経過し、既設置済み設備の部品の調達が難しくなっており、接遇や一般公開等を実施するにあたり支障が生じる恐れがある。そのため、必要な改修工事等を実施している。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算の状況	当初予算	899	726	1,039	1,135	1,311		
		補正予算	0	0	0	0			
		前年度から繰越し	341	115	216	655			
		翌年度へ繰越し	▲ 115	▲ 216	▲ 655				
		予備費等							
	計		1,125	625	600	1,790	1,311		
	執行額		1,102	617	538				
	執行率 (%)		98%	99%	90%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		123%	85%	52%				
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	施設整備費	1,109	1,270	新たな成長推進枠:381					
	施設施工庁費	24	39						
	施設施工旅費	2	2						
	その他	0	0						
	計	1,135	1,311						
定量的な目標を設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標を設定できない理由			定量的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績					
	迎賓施設としての機能を維持するため、また安定して一般公開等を行うために必要となる経年劣化等の不具合による改修工事等であるため。			従来より、緊急度、不具合の頻度(耐用年数)等を考慮し、必要最小限の改修等を行っており、今後も迎賓施設の機能を維持するため、また安定して一般公開等を行うために改修工事等を行っていく。					
	代替目標	代替指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標年度	目標最終年度
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	各国賓客の招待外交の表舞台に相応しい施設としての機能を維持するため、また安定して一般公開等を行うため、接遇等の予定に支障がないよう中長期的な計画に基づき当該年度に合致した施設等の整備を計画的に行う。	当該年度に合致した施設整備の実施割合	実績	件	10	10	8	
目標値				件	12	9	8		
達成度				%	83	111.1	100		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
				活動実績	件	10	10	8
	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うための施設等の改修工事等	当初見込み	件	12	9	8	8	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行額/件数	単位当たりコスト	百万円	114	61.7	67.3		
		計算式	/		1138/10	617.15/10	538/8	

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
必要投入	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	接遇を行う迎賓施設であるため、改修工事等を行う必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国が適切に維持・保全する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	セキュリティの都合上一般競争入札に適さず随意契約となってしまうものについては、作業内容の精査や価格交渉を行うことで、コストの削減に努めている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	セキュリティの都合上、一般競争入札に適さず随意契約となってしまうものについては、作業内容の精査や価格交渉を行うことで、コストの削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うための施設等の改修工事等を実施している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	工法等の比較検討を行い、適切な手段を選定している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	迎賓施設の機能を維持するため、また、安定して一般公開等を行うための施設等の改修工事等を実施している。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	接遇や一般公開等において、十分に活用されている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
点検・改善結果	点検結果		支出先の選定は、支出委任先の国土交通省において、一般競争入札を行うことにより競争性が確保されており、コスト縮減にも努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札には適さず、随意契約(企画競争等)になってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで事業の適正化を図っている。改修工事は工事の範囲を最小限に留め、接遇及び一般公開に支障の無いような施工計画で工事を行っている。
	改善の方向性		国公賓客等の接遇及び一般公開等の実施に伴う支障がないように中長期計画の策定も踏まえながら順次施設の改修、整備を進めていく。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

接遇機会が減少している中、事業の有効性及び事業効果及び施設整備計画について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

施設整備計画について、事業の有効性及び効果を踏まえ、中長期視点に立って適切に検証する。また、予算の効率的執行に努めるとともに、国賓等の接遇や一般参観等に支障が生じないよう、施設整備計画に基づき、概算要求を行った。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0003			
平成23年度	0155			
平成24年度	0149			
平成25年度	0142			
平成26年度	0141			
平成27年度	0156			
平成28年度	0148			
平成29年度	0154			
平成30年度	0161			
令和元年度	内閣府 - 0170			
令和2年度	内閣府 - 0177			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



